

うたが

第1部 **【伝統】** 邦楽×獅子舞

第2部 **【創造】** タップダンス×邦楽

第3部 **【交差】** 華道×タップダンス×邦楽

伝統と創造、過去と今へ、そして未来を拓く

Ticket
500yen



塚越 応駿
—— 華道家 ——



本間 貴士
—— 箏・三味線演奏家/作編曲家 ——



川田 健太
—— 箏・三味線演奏家 ——



藤舎 英心
—— 邦楽囃子方 ——



Lily
—— タップアーティスト ——



千本木龍頭神舞保存会
—— 群馬県指定重要無形民俗文化財 ——



関 美来 (舞台美術)
—— 美術家(テキスタイル) ——



山重 徹夫 (舞台演出)
—— アートディレクター ——

2026.9.12 **土**

14:00開演 (13:30開場)

美喜仁桐生文化会館 シルクホール

桐生市織姫町2-5 TEL 0277-40-1500

Ticket

全席自由 / 500円

発売日 ▶ **7月18日(土) 9:00~**

窓口 ▶ 美喜仁桐生文化会館 (桐生市市民文化会館)

営業時間 9:00~22:00 (火曜休館)

チケット専用電話 TEL 0277-22-9999

Web ▶ **teket**



<https://teket.jp/14031/69398>

問合せ

(公財)群馬県教育文化事業団 文化課

前橋市文京町2-20-22

TEL 027-224-3960 FAX 027-221-4082

<https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/>

事業団HP



※本公演は演出の都合上、場内を暗くいたします。
安全のため、開演中の入場については制限をさせていただきます場合があります。
※主催者が公演の様子を撮影及び録音いたします。
撮影した映像及び写真は、広報物やホームページ、SNS等に掲載する場合があります。
※プログラム等は都合により変更となる場合があります。

アートライブとは What's Art Live

ジャンルを超えたアーティストによるコラボレーションを実現する公演です。群馬県にゆかりのあるアーティストたちの唯一無二の表現が交差することにより新しい感動が生まれます。

今回のテーマは「伝統と創造」。受け継がれてきた伝統の技と美に、現代アートの自由な発想を重ね合わせ、世代を超えて楽しめる舞台をお届けいたします。

Artist Profile

Tsukagoshi Oshun

塚越 応駿

華道家

1921年創流、群馬県高崎市・東京都新宿区を本部とする「いけばな松風」四世家元。幼少より前家元・塚越応鐘に師事。大学卒業後に渡英しフラワーデザインを学ぶ。帰国後はホテルでの花装飾業務に携わり、2008年副家元、2024年5月に家元継承。和洋を融合した作風で国内外にてデモンストレーションやワークショップを行い、舞台・ドラマ・CMの花装飾や技術指導も手がける。日本いけばな伝統文化協会常任理事。(一社)日本華道連盟理事。群馬県華道協会副会長。

Honma Takashi

本間 貴士

箏・三味線演奏家/作編曲家

群馬県太田市出身。3歳より箏、12歳より三味線を母に手解きを受ける。桐朋学園芸術短期大学音楽専攻卒業並びに研究生修了。第7回ルーマニア国際音楽コンクール室内楽部門第1位。二十五絃箏を二代野坂操壽氏、現代三味線を杵屋勝芳壽氏に師事。NHK等メディア、舞台演劇や映画作品への出演、収録に参加。2019年avexよりメジャーデビュー。生流箏曲英美音楽会会長。(公社)群馬三曲協会理事。太田市太田文化協会理事。

Kawata Kenta

川田 健太

箏・三味線演奏家

群馬県前橋市生まれ。7歳より山田流箏曲を、9歳より三絃を習いはじめる。箏・三絃を桜田晴波、中彩香能の各氏に師事。十七絃を石垣清美氏に師事。第33回国民文化祭・おおいの2018出演。地域音楽コーディネーター(音楽文化創造)。公共ホール邦楽活性化事業令和4・5年度登録演奏家(地域創造)。公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト(地域創造)。洗足学園音楽大学大学院マンスリ特別演奏会出演。洗足学園音楽大学現代邦楽コース主席卒業。同大学院修士課程修了。

Tosha Eishin

藤舎 英心

邦楽囃子方

1993年生まれ。群馬県高崎市出身。囃子を藤舎呂英師に、清元節を清元清美太夫師に師事。現在、長唄公演や舞踊会、歌舞伎巡業公演等に出演し研鑽に励んでいる。慶應義塾大学卒業。東京藝術大学別科修了。東京藝術大学邦楽研究助手。NHK「新にっぽんの芸能」や大河ドラマ「豊臣兄弟!」等に出演。またテレビ東京「THEカラオケ★バトル」に出演するなど、活動は多岐に渡る。

リリィ

Lily

タップアーティスト

中央大学法学部卒業後、単身渡米。主演映画はカンヌ等でノミネート・受賞、NYの伝説的ジャズクラスでも成功を収める。震災を機に「椅子タップダンス」を提唱し、15年にわたり東北のコミュニティ再生に尽力。現在はアフリカ初のタップカンパニー指導や、タップを「社会包摂と対話のプロトコル」と捉える現代美術家としても活動。伝統と革新を往来するタップアーティストとして多角的に活動を展開している。

Senbongiryutoshinmai hozonkai

千本木龍頭神舞保存会

群馬県指定重要無形民俗文化財

伊勢崎市の北千木町・南千本木町に伝わる千本木龍頭神舞は、鳳凰元、雌獅子、雄獅子の三頭が組で舞を行う一人立ち三人連舞で、頭が龍であることや、鳳凰元と雄獅子の角の根本に神面が彫刻されていることから、「龍頭神舞」と呼ばれている。舞の始まりは定かではないが宝暦年間(1751~1764)には始まっていたと伝えられている。保存会では地域の子どもたちにも指導を行っており、10月に行われる秋祭りでは子ども獅子と大人獅子が舞を披露している。

Seki Mirai

関 美来

美術家(テキスタイル)

ファッションとテキスタイルを学び、染色や繊維という素材を背景とし、自然の摂理や世界の構造を探究している。近年は屋外での制作を中心に、自然環境と関わるインスタレーション作品を発表。「概念的なテキスタイル」として繊維表現の領域を拡張し、素材・行為・環境が交差する場の構築を試みている。近年の主な展示に「中之条ビエンナーレ国際芸術祭」「大地の芸術祭・越後妻有の冬2025」などがある。

Yamashige Tetsuo

山重 徹夫

アートディレクター

多摩美術大学を卒業後、都内デザイン会社で制作ディレクターを務める。独立後は多くの企業で広告やUIなどの幅広いメディアでデザインを担当。2006年より地域独自の視点から芸術文化を発信するため、中之条ビエンナーレを立ち上げ、総合ディレクターを務める。その後、クリエイティブセンサー・sumujiをプロデュース、地域特性を活かした商品デザインやイベントなどを展開。現在は国際芸術交流をはじめとするアートプロジェクトなどの文化振興事業を行っている。第76回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



県民の文化芸術活動の発表の場や優れた鑑賞機会を提供してきた県民芸術祭は、令和8年度に50周年を迎えました。本県文化芸術の歴史と伝統を次世代へ継承し未来へつなぐことを目的に、50周年事業を実施しています。

県民芸術祭50周年記念事業

ぐんま 文化 見本市

9/11(金)~9/13(日) 美喜仁桐生文化会館にて同日開催

群馬の文化を見て、感じて、体験する3日間

「ぐんま文化見本市」

問合せ

(公財)群馬県教育文化事業団 事業支援課

TEL 027-243-7200 FAX 027-221-4082
<https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/>

詳細はHP



入場無料

(ワークショップは事前予約制です)

子どももおとなも楽しめる
7つのワークショップと4種類の展示